

DT+プロジェクト変換ツール

DT+プロジェクト変換ツールはDT10のプロジェクト(.rprj)の環境をDT+Traceプロジェクトに変換するツールです。

DT10プロジェクトのほかに、登録されているソースファイル、DTヘッダファイル、レポートデータ、プロファイルをDT+Traceでできるように変換します。

変換対象のプロジェクト

DT10Ver.13.0.1で開けるプロジェクトファイルが対象になります。

DT10Ver.13.0.1でエラーになってしまうプロジェクトや、レポートデータがある場合、変換することができませんのでご注意ください。

変換されない設定

変換されない設定は以下になります。必要に応じて変換後のDT+Traceで再度設定し直してください。

- 環境設定
 - リストのカラム設定等、環境設定ダイアログで設定される設定値
- アナログボックス設定
 - ロジック部分も引き継がれません。DT+Traceで再設定が必要です。
- ファイル書き出しのインポート設定
- DT10でEthernet接続方式の場合、Ethernet接続設定のサーバーIPアドレス
 - 接続はEthernet接続で変換されます。
- DT10でUART接続方式の場合、UART接続設定
 - 接続はUART接続で変換されます。
- CAN接続、Ethernet接続設定のアプリケーションフィルタ設定

制限事項

- 変換処理中は、Ctrl+Cによる強制中断はできません。
- SD接続のDTプロジェクトは変換できません。
- 自動バックアップ設定によってバックアップされていたプロジェクトとソースファイルは削除されます。
- 変換時には一時的に容量が大きくなります、十分な空き容量があるかご確認ください。目安としては環境一式の2倍の空き容量を確保してください。
- DT10プロジェクトで取得したアナログデータ、ロジックデータは引き継がれません。
- DT-Win、DT10AutomotiveEditionのプロジェクトは変換できません。
- 過去プロファイルに関しては、DT10プロジェクトに登録されているプロファイルのみが変換対象になります。変換前に事前にDT10で対象のプロファイルが登録されているかご確認ください。

- プロジェクトファイルパスに空白が含まれている場合は、ダブルクォートで括弧する必要があります。
- DT10プロジェクトやプロファイル、レポートデータでDT10アプリ上以外で関連するファイルの削除などを行っている場合、変換できない可能性があります。
- 変換後はソースファイルも更新されますので、DT+Traceでデータを取得する場合は、再度ターゲットのビルド・コンパイルが必要になります。
- 変換にかかる時間はPCスペックやプロジェクト、レポートデータの量によって変わります。
 - 目安として以下の環境で10秒程度で変換が完了します。

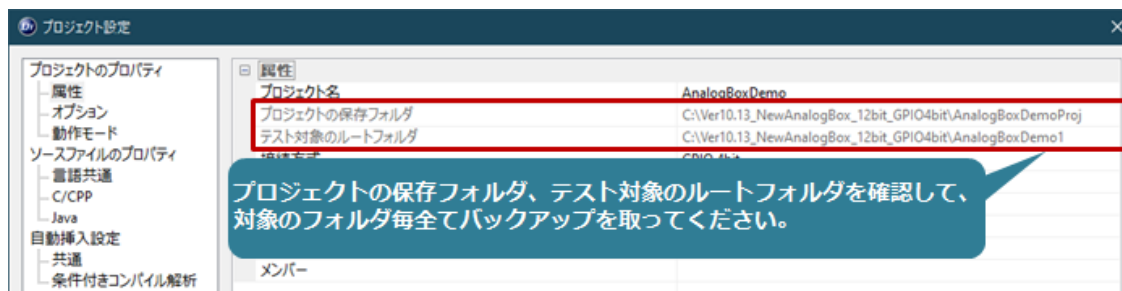
項目	詳細
OS	Windows 10 Home
プロセッサ	AMD Ryzen 7 4700U with Radeon Graphics 2.00 GHz
メモリ	16.0 GB
ストレージ	SSD 512GB
DT10プロジェクトのサイズ	184 KB
DT10のレポートデータサイズ	1GB

手順

1. 事前にDT10Ver.13.0.1で対象のプロジェクトを開き、起動時にメッセージ等が表示されないか、レポートデータは開くことができるか等を確認してください。

注意

変換後はDT10のプロジェクトは削除され、レポートデータやソースファイル、プロファイルはDT+Trace用になるため、プロジェクトやソースファイル、プロファイル、レポートデータなどの環境一式のバックアップを必ずとってください。



2. DT10アプリやDT+Traceアプリを閉じていることを確認してください。
また変換対象のファイルが他のアプリやツールで使用していないことを確認してください。
3. DTProjConv.zipを解凍してください。
4. コマンドプロンプトを起動して、解凍したDTProjCovフォルダに移動してください。

例) CドライブにDTProjConvを解凍した場合

```
1 | cd C:\DTProjConv
```

5. 以下のコマンドを実行します。

```
1 | DTProjConv <プロジェクトファイルのフルパス名>
```

※プロジェクトファイルのフルパス名で空白が使用されている場合はダブルクォートで括弧する必要があります。

6. 実行すると以下のように処理中のコンソールが表示されます。

注意

プロジェクトに登録されているソースコード数やレポートデータの量に応じて変換に時間がかかる場合がございます。
変換が完了するまでは変換されたプロジェクトを起動しないようにしてください。

```
Microsoft Windows [Version 10.0.19042.1052]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

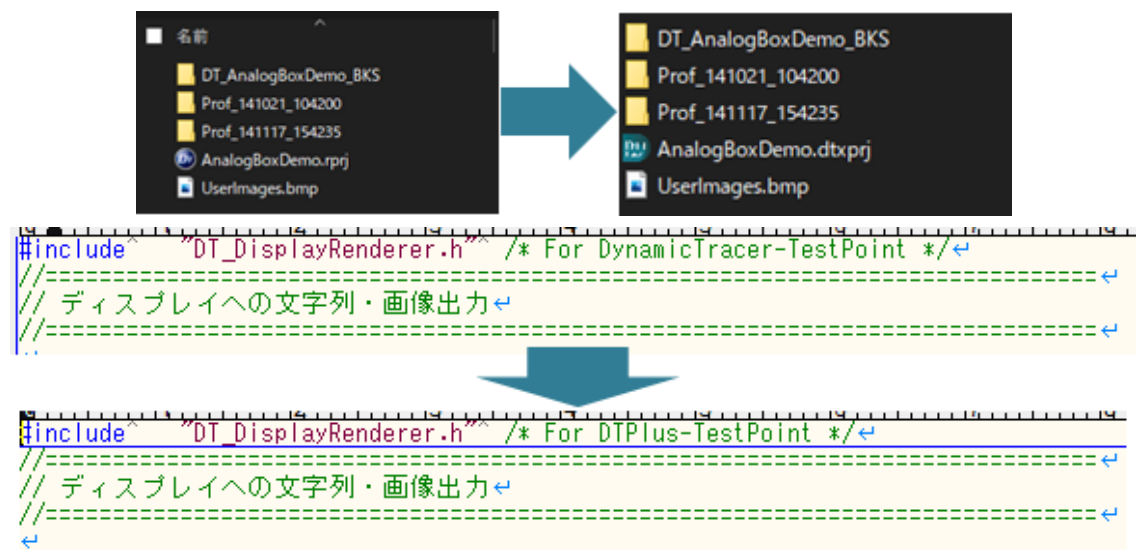
C:\WINDOWS\system32>cd C:\DTProjConv

C:\DTProjConv>DTProjConv C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\AnalogBoxDemo.rprj
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\AnalogBoxDemo.rprj ... 読み込み完了
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\Prof_141117_154235.pprj ... 読み込み完了
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\Prof_141117_154235.ddt ... 読み込み完了
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\Prof_141117_154235.Repo_141117_154249.dvt ... 読み込み完了
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\AnalogBoxDemo.dtxprj ... 書き込み完了
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\Prof_141117_154235.src\rel\Source\DisplayRenderer.c DT10によるコメントをDT+Trace用に変換
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\Prof_141117_154235.src\rel\Source\Task_Buzzer.c DT10によるコメントをDT+Trace用に変換
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\Prof_141117_154235.src\rel\Source\Task_Display.c DT10によるコメントをDT+Trace用に変換
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\Prof_141117_154235.src\rel\Source\Task_Hardware.c DT10によるコメントをDT+Trace用に変換
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\Prof_141117_154235.src\rel\Source\Task_LED.c DT10によるコメントをDT+Trace用に変換
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\Prof_141117_154235.src\rel\Source\Task_RGB-LED.c DT10によるコメントをDT+Trace用に変換
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\Prof_141117_154235.pprj ... 書き込み完了
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\Prof_141117_154235.ddt ... 書き込み完了
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\Prof_141117_154235.Repo_141117_154249.dvt ... 書き込み完了
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\Prof_141117_154235.Repo_141117_154249\AS00000000.DAT ... 書き込み完了
自動バックアッププロジェクトを削除しました
プロジェクトファイルを変換しました
C:\Ver10.13_NewAnalogBox_12bit_GP104bit\AnalogBoxDemoProj\AnalogBoxDemo.dtxprj

C:\DTProjConv>
```

7. 変換が完了したらコマンドで指定したDT10プロジェクト(.rprj)がDT+Traceプロジェクト(.dtxprj)に変換されます。

また登録したソースファイル、プロファイル、レポートデータもDT+Trace用に変換されます。



以上で作業は完了です。

コマンド実行時にエラーが表示されたら

以下の場所にあるDTProjConvlog.txt、DTProjConvErr.txtを[技術サポート](#)までご送付ください。

- C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\hldc\DTProjConv
 - AppDataは隠しフォルダです。